

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和５年度分）

施設名	茨城県立白浜少年自然の家
施設所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
指定管理者	（特非）ひと・まちねっとわーく
指定期間	R3.4.1～R6.3.31（３年間）

１ 施設の概要

施設所在地	行方市白浜 1466
施設の概要	敷地面積 120,731 m ² 管理棟 813 m ² 、食堂棟 674 m ² 、宿泊棟 2,186 m ² 、体育館 700 m ² その他の主な施設等 創作棟（創作室１・２） つどいの広場 いろりの家 野外炊飯場（３ヶ所） 野外キャンプ場 冒険の森（アスレチック遊具 10基） ウォークラリーコース オリエンテーリングコース 宿泊定員 320名
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身ともに健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育及び研修事業に関する業務 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・食堂の運営に関する業務 ・その他上記に附帯する業務

２ 職員の状況

常勤職員：	7人	非常勤職員：	8人	合計：	15人
-------	----	--------	----	-----	-----

３ 収支状況

令和５年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	94,547,990	人件費（給与等）	49,150,659
利用料収入	3,858,780	光熱水費	53,997,854
自主事業収入等	41,476,717	租税公課等	30,770,358
その他（利息等）	7,529,207		
収入合計	147,412,694	支出合計	133,918,871

４ 利用状況

	令和５年度実績	令和４年度実績	令和３年度実績
①年間利用日数(日)	236日	212日	141日
②年間利用者数(人)	33,293人	23,473人	11,567人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	3,858,780円	2,393,930円	921,680円

※令和２年度は、４月中旬～３月中旬まで新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。

5 サービス向上に向けた取組み

- ・新型コロナウイルス感染防止対応については、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行し、個人の選択を尊重し、自主的な取組をベースとした対応に変わりましたが、利用者が、安心かつ安全に活動ができるよう、アルコール消毒液の配置やうがい手洗いの徹底の呼びかけは継続するなど、新型コロナウイルス感染防止対策に努めた。
- ・各種野外炊飯の作り方や留意点、火おこし等について事前研修会で伝えたり、ホームページを通して事前に確認できたりするようにした。
- ・事前に利用者の活動計画を確認・調整のための、利用団体の責任者による「事前打合せ会議」を実施し、研修効果を高められるようにしている。また、下見や活動計画作成等の相談にも随時対応した。
- ・食物アレルギーの対応のために、食堂の食事や野外炊飯において、管理栄養士の指導・助言の下、食材やメニューの変更等に努めた。
- ・利用者の要望に応えるため、入退所、食事、入浴時間等を活動計画の進行状況に応じて随時連絡調整し、可能な限り利用時間等の弾力的な対応に努めた。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・日帰り及び宿泊研修利用者に対してアンケート調査を実施。(回答数：202 団体、回答率 77.0%)
- ・主催事業参加者に対してアンケート調査を実施。(回答数：個人 395 人、家族 146 家族)

○調査結果（日帰り及び宿泊研修利用者）

①開館日・開館時間

大いに満足 85.2%、満足 10.8%、ふつう 2.5%、不満 1.0%、大いに不満 0.5%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 93.9%、満足 5.6%、ふつう 0.5%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

③施設の清潔さ

大いに満足 74.6%、満足 16.5%、ふつう 8.1%、不満 0.8%、大いに不満 0.0%

④プログラムの内容

大いに満足 89.1%、満足 10.4%、ふつう 0.5%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 82.6%、満足 13.8%、ふつう 2.6%、不満 1.0%、大いに不満 0.0%

※主催事業参加者へのアンケート調査内容は、「職員・スタッフの応対」「プログラムの内容」が主であり、ほぼ100%の参加者（家族）が「大いに満足」と回答し、高評価であった。

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・活動計画や施設利用について詳細な説明やアドバイスをしてくれてとてもよかった
- ・大浴場を一緒に利用できない児童がいたのだが、多目的浴室を利用できて助かった
- ・急遽変更になった食数や活動内容にも親切丁寧な対応してくれ、気持ちよかった。
- ・施設全体がとてもきれいに整備されている。

【悪い点】

- ・浴室関係室が汚れていて気になった。

【要望】

- ・食事は事前に配膳したいので、少し早めの配膳係の入室を許可して頂けるとありがたい。

○対応状況

- ・利用者アンケートに記載された意見や要望等について集計したものを職員に周知し、即時対応できるものは対応するように努めている。
- ・施設設備の老朽化への対応については、県へ予算措置を要望するとともに、日ごろから施設設備の安全管理に努めている。

--

7 施設管理の状況

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (評価に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託するとともに、職員による点検の実施により適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業者に委託するとともに、職員による点検・整備により維持管理に努めた。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	破損箇所は速やかに改修し、安全確保に努めた。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切に運営した。	A	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	事前申込みや随時申込みについて、適正に行った。	A	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	アンケート結果等を参考に、門松自作キットを提供するなど、施設の利用拡大やサービスの向上に努めた。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート結果を基に、要望が多く、対応可能なものから改善に努めた。	A	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。 (有資格者の適正配置)	適切な人員配置を行うとともに、利用者への丁寧な対応に努めた。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	利用者アンケート結果を基に、対応可能な要望等には迅速に対応した。県への報告も適切に行っている。	A	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	緊急連絡網による体制を整え、緊急時には適切に行動できるように共通理解を図った。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて、関係機関との連携を図った。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍の影響は解消されつつあったが、利用キャンセルがあり、計画は達成できなかった。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	コロナ禍の影響も残ってはいたが、稼働率はコロナ禍発生以前の状況に戻りつつある。	B	A
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	事業の延期や日程短縮により、事業計画の遂行に向けた諸準備に取り組み、適正な執行に努めた。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	エアコンや照明器具の使用方法について、利用者に協力依頼するとともに、LED照明器具への変更など省エネ対策による経費削減に努めた。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

適切な運営体制が構築されており、安全管理や利用者対応においても職員間で連携を取りながら対応できている。アンケート結果からは、施設の清潔さに「不満」8.1%と課題がみられるものの、職員・スタッフの対応は「大いに満足」93.09%と評価は高い。

施設の運営においては、ホームページの更新頻度が低く、申込みがハガキなど、改善の余地あり。事業においても、企画や広報の弱さから人数が集まらないことが頻出していた。また、アンケート回収率が77.0%は根拠が弱くなるため、100%を目指すべき。

施設として時代に合わせた改善点は多々あるが、必要最低限の体制と職員の対応は丁寧であり、利用者の満足度につながっている。以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
・総合評価欄については、所管課が記入する。
・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和４年度分）

施設名	茨城県立白浜少年自然の家
施設所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
指定管理者	（特非）ひと・まちねっとわーく
指定期間	R3.4.1～R6.3.31（３年間）

１ 施設の概要

施設所在地	行方市白浜 1466
施設の概要	敷地面積 120,731 m ² 管理棟 813 m ² 、食堂棟 674 m ² 、宿泊棟 2,186 m ² 、体育館 700 m ² その他の主な施設等 創作棟（創作室１・２） つどいの広場 いろりの家 野外炊飯場（３ヶ所） 野外キャンプ場 冒険の森（アスレチック遊具 10基） ウォークラリーコース オリエンテーリングコース 宿泊定員 320名
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身ともに健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育及び研修事業に関する業務 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・食堂の運営に関する業務 ・その他上記に附帯する業務

２ 職員の状況

常勤職員：	８人	非常勤職員：	６人	合計：	１４人
-------	----	--------	----	-----	-----

３ 収支状況

令和４年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	105,233,141	人件費（給与等）	44,921,804
利用料収入	2,393,930	管理費	49,852,964
自主事業収入等	26,486,383	事業費	23,681,036
その他（利息等）	2,873,047		
収入合計	136,986,501	支出合計	118,455,804

４ 利用状況

	令和４年度実績	令和３年度実績	令和２年度実績
①年間利用日数(日)	213 日	141 日	25 日
②年間利用者数(人)	23,473 人	11,567 人	75 人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	2,393,930 円	921,680 円	10,560 円

※令和２年度は、４月中旬～３月中旬まで新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。

5 サービス向上に向けた取組み

- ・利用者が、安心かつ安全に活動ができるよう、施設、設備の整備・保守に努めるとともに、アルコール消毒液の配置、食堂のテーブルの飛沫分散防止シートの設置など新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図った。また、新型コロナウイルス感染防止対応についてホームページに掲載し、利用者への理解と協力を呼びかけた。
- ・各種野外炊飯の作り方や留意点、火おこし等について、ホームページを通じて事前確認し、当日スムーズに活動できるようにした。
- ・事前に利用者の活動計画を確認・調整のための、利用団体の責任者による「事前打合せ会議」を実施し、研修効果を高められるようにしている。また、下見や活動計画作成等の相談にも随時対応した。
- ・食物アレルギーの対応のために、食堂の食事や野外炊飯において、管理栄養士の指導・助言の下、食材やメニューの変更等に努めた。
- ・利用者の要望に応えるため、入退所、食事、入浴時間等を活動計画の進行状況に応じて随時連絡調整し、可能な限り利用時間等の弾力的な対応に努めた。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・日帰り及び宿泊研修利用者に対してアンケート調査を実施。(回答数：158 団体、回答率 76.0%)
- ・主催事業参加者に対してアンケート調査を実施。(回答数：個人 334 人、家族 182 家族)

○調査結果（日帰り及び宿泊研修利用者）

①開館日・開館時間

大いに満足 81.7%、満足 15.7%、ふつう 2.6%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

②職員・スタッフの対応

大いに満足 94.9%、満足 3.8%、ふつう 1.3%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

③施設の清潔さ

大いに満足 74.9%、満足 15.9%、ふつう 9.2%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

④プログラムの内容

大いに満足 78.7%、満足 14.2%、ふつう 7.1%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 73.5%、満足 15.8%、ふつう 10.7%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

※主催事業参加者へのアンケート調査内容は、「職員・スタッフの対応」「プログラムの内容」が主であり、ほぼ 100%の参加者（家族）が「大いに満足」と回答し、高評価であった。

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・職員の対応が丁寧で、急な変更にも速やかに対応してくれ、大変よかった。
- ・集団で入浴ができない児童が、多目的浴室を利用できてよかった。
- ・施設内外とてもきれいに整備されている。
- ・細かい点の利用状況説明やアドバイスがあり助かった。

【悪い点】

- ・多目的浴室が汚れていた。

【要望】

○対応状況

- ・利用者アンケート結果を職員で共有・検討し、意見・要望等の内容によって迅速な対応、又は、状況に応じた柔軟な対応をするように努めている。
- ・施設設備の老朽化への対応については、県へ予算措置を要望するとともに、日ごろから施設設備の安全管理に努めている。

7 施設管理の状況

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (評価に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託するとともに、職員による点検の実施により適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業者に委託するとともに、職員による点検・整備により維持管理に努めた。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	破損箇所は速やかに改修し、安全確保に努めた。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切に運営した。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	事前申込みや随時申込みについて、適正に行った。	A	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	アンケート結果等を参考に、門松自作キットを提供するなど、施設の利用拡大やサービスの向上に努めた。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート結果を基に、要望が多く、対応可能なものから改善に努めた。	A	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。 (有資格者の適正配置)	適切な人員配置を行うとともに、利用者への丁寧な対応に努めた。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	利用者アンケート結果を基に、対応可能な要望等には迅速に対応した。県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	緊急連絡網による体制を整え、緊急時には適切に行動できるように共通理解を図った。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて、関係機関との連携を図った。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍の影響により、利用辞退や事業の中止があり、計画は達成できなかった。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	コロナ禍の影響もあり、稼働率は低かった。	C	A
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	事業の延期や日程短縮により、事業計画の遂行に向けて諸準備に取り組み、適正な執行に努めた。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	エアコンや照明器具の使用方法について、利用者に協力依頼するとともに、LED照明器具への変更など省エネ対策による経費削減に努めた。	B	C

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

利用者が安心・安全に活動できるよう、業者だけでなく職員による点検を実施し、適切に管理している。また、アレルギー対応が必要な場合は、管理栄養士が利用する児童・生徒の保護者と直接連絡を取り、配慮しながら運営している。

宿泊を伴う「家族でキャンプ」は人気で、抽選になる盛況ぶりであった。子ども向け事業だけでなく大人向けの事業を企画し、需要を掘り起こす努力がされていた。

アンケート調査からは、「職員・スタッフの応対」が高評価を得ており、参加者の満足度は高い結果となっている。

以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和３年度分）

施設名	茨城県立白浜少年自然の家
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）ひと・まちねっとわーく
指定期間	R3. 4. 1～R6. 3. 31（３年間）

１ 施設の概要

施設所在地	行方市白浜 1466
施設の概要	敷地面積 120,731 m ² 管理棟 813 m ² 、食堂棟 674 m ² 、宿泊棟 2,186 m ² 、体育館 700 m ² その他の主な施設等 創作棟（創作室１・２） つどいの広場 いろりの家 野外炊飯場（３ヶ所） 野外キャンプ場 冒険の森（アスレチック遊具 10基） ウォークラリーコース オリエンテーリングコース 宿泊定員 320名
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身ともに健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育及び研修事業に関する業務 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・食堂の運営に関する業務 ・その他上記に附帯する業務

２ 職員の状況

常勤職員：	9人	非常勤職員：	3人	合計：	12人
-------	----	--------	----	-----	-----

３ 収支状況

令和３年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	105,421,000	人件費（給与等）	45,040,089
利用料収入	921,680	管理費	38,949,997
指定事業等収入	9,109,764	事業費	12,098,811
その他（利息等）	1,303,668		
収入合計	116,756,112	支出合計	96,088,897

４ 利用状況

	令和３年度実績	令和２年度実績	令和元年度実績
①年間利用日数(日)	271日	25日	250日
②年間利用者数(人)	11,567人	75人	45,622人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	921,680円	10,560円	4,818,150円

※令和２年度は、４月中旬～３月中旬まで新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施。

5 サービス向上に向けた取り組み

- ・利用者が、安心・安全に活動ができるよう、施設設備の整備・保守に努めるとともに、アルコール消毒液の配置、食堂のテーブルの飛沫分散防止シートの設置など新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図った。また、新型コロナウイルス感染防止対応についてホームページへ掲載し、利用者への理解と協力を呼びかけた。
- ・各種野外炊飯の作り方や留意点、火おこし等について、ホームページを通じて事前に確認できるようにした。
- ・事前に利用者の活動計画を確認・調整し、研修効果を高められるよう、利用団体の責任者による「事前打合せ会議」を実施している。また、下見や活動計画作成等の相談にも随時対応した。
- ・食堂の食事や野外炊飯において、管理栄養士の指導・助言の下、食材やメニューの変更等食物アレルギーの対応に努めた。
- ・利用者の要望に応えるため、入退所、食事、入浴時間等を活動計画の進行状況に応じて随時連絡調整し、可能な限り利用時間等の弾力的な対応に努めた。
- ・利用者の利便性向上及び新型コロナウイルス感染防止の観点から、キャッシュレス決済（銀行振込）を導入した。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・日帰り及び宿泊研修利用者に対してアンケート調査を実施。（回答数：115 団体、回答率 65.3%）
- ・主催事業参加者に対してアンケート調査を実施。（回答数：個人 334 人、家族 182 家族）

○調査結果（日帰り及び宿泊研修利用者）

①開館日・開館時間

大いに満足 81.7%、満足 15.7%、ふつう 2.6%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

②職員・スタッフの対応

大いに満足 92.0%、満足 4.5%、ふつう 3.5%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

③施設の清潔さ

大いに満足 73.1%、満足 17.0%、ふつう 9.9%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

④プログラムの内容

大いに満足 81.7%、満足 15.7%、ふつう 2.6%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 94.8%、満足 4.3%、ふつう 0.9%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

※主催事業参加者へのアンケート調査内容は、「職員・スタッフの対応」「プログラムの内容」が主であり、ほぼ 100%の参加者（家族）が「大いに満足」と回答し、高評価であった。

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・職員の対応が丁寧で、急な変更にも速やかに対応してくれ、大変よかった。
- ・宿泊室全室にエアコンが設置されており、快適に過ごすことができた。
- ・敷地内がよく整備され、野外活動を気持ちよく行うことができた。

【悪い点】

- ・宿泊室の網戸が外れていたところがあり、動きも悪かったところがあった。
- ・アウトドアビンゴやインドアビンゴの写真が古いもの、ウォークラリーでポストがないところがあった。

【要望】

- ・野外活動に関する説明や動画がホームページにあると、事前指導に活用できると思う。

○対応状況

- ・利用者アンケートに記載された意見や要望等について集計したものを職員に周知し、速やかに対応できるものは対応するように努めている。
- ・施設設備の老朽化への対応については、県へ予算措置を要望するとともに、日ごろから施設設備の安全管理に努めている。

7 施設管理の状況

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (評価に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託するとともに、職員による点検の実施により適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業者に委託するとともに、職員による点検・整備により維持管理に努めた。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	破損箇所は速やかに改修し、安全確保に努めた。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切に運営した。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	事前申込みや随時申込みについて、適正に行った。	A	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	アンケート結果等を参考に、門松自作キットを提供するなど、施設の利用拡大やサービスの向上に努めた。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケート結果を基に、要望が多く、対応可能なものから改善に努めた。	A	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。 (有資格者の適正配置)	適切な人員配置を行うとともに、利用者への丁寧な対応に努めた。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	利用者アンケート結果を基に、対応可能な要望等には迅速に対応した。県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	緊急連絡網による体制を整え、緊急時には適切に行動できるように共通理解を図った。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて、関係機関との連携を図った。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	コロナ禍の影響により、利用辞退や事業の中止があり、計画は達成できなかった。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	コロナ禍の影響もあり、稼働率は低かった。	C	C
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	事業の延期や日程短縮により、事業計画の遂行に向けて諸準備に取り組み、適正な執行に努めた。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	エアコンや照明器具の使用方法について、利用者に協力依頼するとともに、LED照明器具への変更など省エネ対策による経費削減に努めた。	B	A

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

利用者へのアンケート調査では、指定事業への参加者の満足度が高かった。また、職員スタッフの応対が高評価を得ている。職員は、事前打ち合わせ会議を実施し、相談にも随時応じている。

新型コロナウイルス感染症の影響で指定事業「教員を目指す大学生等の野外活動実習」の実施時期を変更することになったが、柔軟に対応し、より多くの参加者を得ることができた。また、利用者のニーズを把握し、人気の高い「門松づくり」を自主事業に取り入れ、施設の利用拡大やサービスの向上に努めている。

以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの